

# JIS

## アルミナ質研削材の化学分析方法

JIS R 6123 : 1998

(2008 確認)

平成 10 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS R 6123 : 1995は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、対応国際規格との整合を図った。

JIS R 6123には、次に示す附属書がある。

附属書 (規定)

---

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 27.3.8 改正：平成 10.11.20

官報公示：平成 10.11.20

原案作成協力者：研削材工業協会

審議部会：日本工業標準調査会 窯業部会 (部会長 福浦 雄飛)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課 (☎ 100-8921 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## アルミナ質研削材の化学分析方法 R 6123 : 1998

## Method for chemical analysis of alumina abrasives

**序文** この規格は、1997年に第1版として発行されたISO 9285, Abrasive grains and crude—Chemical analysis of fused aluminium oxideが規定している熔融アルミナ研削材の化学分析方法について、その技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、対応国際規格には規定されていない分析方法についても日本工業規格として追加している。

なお、この規格で側線及び点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格には規定されていない事項である。

**1. 適用範囲** この規格は、アルミナ質研削材（以下、研削材という。）の化学分析方法について規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 9285 : 1997 Abrasive grains and crude—Chemical analysis of fused aluminium oxide

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

- JIS H 6201 化学分析用白金るつぼ
- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0115 吸光光度分析通則
- JIS K 0121 原子吸光分析通則
- JIS K 8001 試薬試験方法通則
- JIS R 6003 研磨材のサンプリング方法
- JIS R 6111 人造研削材
- JIS Z 8401 数値の丸め方

**3. 分析項目** 研削材の分析項目は、種類によって区分し、表1のとおりとする。